

2023年7月24日

## Audi RS Q e-tron、2024 ダカールラリー参戦に向けて実戦テスト

- Team Audi Sport、3組すべてのドライバー/コドライバーによるテストをスペインで実施
- バハ アラゴン ラリーにカテゴリー外の車両として参戦
- 2024年1月のダカールラリーに向けた準備

(ドイツ本国発表資料) 2023年7月19日、ノイブルク アン デア ドナウ : Audi Sport は、2024 ダカールラリー参戦に向けて実戦モードに入っています。チームは、5月にサウジアラビアでテストを行った後、7月に入り、スペインで別のテストを行い、その後7月21日から開催の長い伝統を誇るバハ アラゴン ラリーに3台の Audi RS Q e-tron が参戦しました。参加するドライバー/コドライバーのペアは、マティアス エクストローム/エミール ベリークヴィスト、ステファン ペテランセル/エドゥアルド ブーランジェ、カルロス サインツ/ルカス クルスです。

Team Audi Sport は7月11日から7日間、イベリア半島のスペインで1,500km以上を走行するテストを実施してきました。Audi Motorsport 責任者 ロルフ ミヒェルは、次のように述べています。「サウジアラビアのテストでは、様々な発見がありました。この結果に基づいて、チームのエンジニアは細部にわたる改善作業に取り組んできました。ドライバーからは貴重なフィードバックがあり、これらは、私たちが正しい方向に進んでいることを示しています。次のステップは、バハ アラゴン ラリーに参戦することです」。このラリーは、Team Audi Sport およびスウェン クヴァント率いる Team Q Motorsport の年間スケジュールに従って参戦するもので、7月21日から22日にかけてスペイン東部の都市テルエル周辺で開催されました。アウディは、電気ドライブとエネルギーコンバーターを搭載し、reFuel を使用する革新的なプロトタイプ、RSQ e-tron を開発しました。このモデルは、T1 U カテゴリーに分類されます。低エミッションレースカーのT1 Uは、バハ アラゴン ラリーにはありませんが、Audi Sport は、カテゴリー外の車両として、このラリーに出場する許可を得ています。スウェン クヴァントは、次のようにコメントしています。「私たちは、承認されているカテゴリーに参戦するわけではありませんが、このラリーに参戦することで、ドライバーとコドライバーは、実戦条件下における徹底的な準備を行うことが可能になると同時に、私たちの車両についてさらに詳しく知ることができます」。

### サスペンションとタイヤのテスト、細部の改良

テクニカルディレクター レオナルド パスカーリと彼の開発チームは、サスペンションとタイヤに焦点を当てました。パスカーリは、次のように説明しています。「多くの可能性を試すために、様々な設定をしたショックアブソーバーを用意しました。そして、Audi RS Q e-tron と最適なマッチングを実現する、BF Goodrich の新しいタイヤを使用しました」。その他の改良には、ボディ形状の最適化が含まれており、これによりフロントガラスの汚れが少なくなりました。マティアス エクストロームは、次のようにコメントしています。「この2日間で、ダンパーに関する知識が大幅に深まりました」。カルロス サインツは、この意見に賛同して次のように述べています。「サウジアラビアで行った前回のテスト結果が活かされ、私たちはさらに前進しています」。Team Audi Sport がスペインのサラゴサで行った今回のテストでは、テルエルで開催されるバハ アラゴン ラリーにおける厳しいサービス条件に対応する準備が行われました。例えば、バハ アラゴンのレギュレーションでは、土曜日の2つのステージの間のサービス、およびステージ終了後のサービスは30分間に限定されています。そこでは、3人のメカニックにドライバーとコドライバーを加えた5名だけが、車両に対する作業を許可されます。

### バハ アラゴンを準備プログラムに追加

ステファン ペテランセルは、次のようにコメントしています。「バハ アラゴンは、ほぼすべての点でダカールラリーとは異なっています。ルートは、世界ラリー選手権のように曲がりくねっていますが、より長い距離を走行します。ルートは明確に示されていますので、基本的に道に迷うことはありません。これらの様々な条件を考慮すると、バハは砂漠でのオフロード プログラムに追加するのに適しています」。ダカールで 14 回優勝しているペテランセルは、2007 年から 2012 年の間に、スペインで 3 回の優勝経験があります。その一方で、スヴェン クヴァントは、チームとともに 10 回優勝しています。今年のバハ アラゴン ラリーのプログラムでは、7 月 21 日にプロローグと最初のステージが行われ、7 月 22 日には 500km を走行する 2 つのステージが用意されました。今年で 39 回目を迎え、あらゆる車両カテゴリーから 271 のチームが参加するこのイベントには、記録的な数の参加者が登録しています。今回のラリーでは、1 月のダカールラリーでの事故により治療に専念していたコドライバーのエドゥアール ブーランジェが復帰して、ペテランセルと再びコンビを組みます。ブーランジェは、検査後に次のように語っています。「もちろん、健康には細心の注意を払っていますが、再びステファンのナビゲーターとしてレースに参加できることを嬉しく思います」。

### ダカール参戦の長期目標：スペインからスタート

Team Audi Sport は、3 回目のダカールラリー参戦に向けて準備を進めていますが、イベントまで 6 か月を切りました。スペインにおける約 2 週間のテストとラリーへの参戦は、集中的な準備段階が始まったことを示しています。ペテランセルは、次のように強調しています。「テストは良いことですが、実戦モードに戻る事が重要です」。これは決してドライバーとコドライバーだけに当てはまるものではありません。チームの新しいメンバーも、実戦環境に慣れる必要があります。時間的なプレッシャーがある中で、完璧な準備を続けなければなりません。Team Audi Sport は、バハ アラゴンに次いで、10 月に予定されているラリー デュ マロックに参戦する予定です。ラリー デュ マロックでは、ダカールラリーと同様、砂漠が舞台となり、走行距離はバハ アラゴンよりも大幅に長くなります。さらに、追加のテストを実施することにより、来年 1 月に開催される世界で最も過酷なオフロード大会に向けたチームの準備が整います。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

お客様お問い合わせ：  
アウディ コミュニケーション センター  
0120 - 598106



---

アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、13 カ国 22 か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界 100 以上の市場に存在しています。2022 年、アウディ グループは、161 万台のアウディ、15,174 台のベントレー、9,233 台のランボルギーニ、および 61,562 台のドゥカティを販売しました。2022 会計年度において、アウディ グループは総収益 61.8 億ユーロ、営業利益 7.6 億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは 2022 年に 87,000 人以上が働き、そのうち 54,000 人以上

---



**Audi** Communications  
MediaInfo



---

がドイツのAUDI AG で働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。

---